

## ■参照文書

◎公益財団法人日本サッカー協会

|JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン 第2版(6/12)

○スポーツ庁

|社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン ○公益財団法人日本スポーツ協会

|スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

|スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト

## 1.ガイドライン策定の目的

中学3年生が今までの努力してきた成果を発揮する機会を設けるとともに、安心して安全にサッカー活動ができるために策定する。

- (1) 「感染拡大防止」という目的で対応を定める  
→ 自身かが感染すること以上に他者への感染拡大を抑制する
- (2) サッカーで「集団感染(クラスター)をつくらない」  
→ 人が集まる、人を集める作用を制限する
- (3) 「自覚症状がない感染者が感染を拡大させる危険性」を軽減する  
→ 自覚のない感染に配慮し、衛生管理や健康管理への留意を啓発する
- (4) 「熱中症防止」という目的で対応を定める  
→ 環境や運営を改善することで、少しでも被害を小さくする

## 2.事業実施のポイント

- (1) サッカーに関わるすべての人に感染拡大が及ばない対策をみんなで徹底する
- (2) 集団感染(クラスター)の発生原因となりやすいといわれる「三つの密」の設定をしない  
1 密閉空間で換気が悪い 2 近距離での会話や発生がある 3 手の届く距離に多くの人がいる
- (3) 相手からできるだけ2mを離れることを意識し行動する
- (4) 参加者同士の接触機会を最小限に抑えるように努力する
- (5) 参加については、個人やチームの参加意思のもと参加者の責任において参加する
- (6) 参加者の体調や参加者自身の意思に応じて参加できないことを認める
- (7) 感染が疑われたり発生したり場合は速やかに対応する
- (8) 開催する市町村、施設の対策に従う
- (9) 開催日までに、政府または行政機関等から諸活動に対する自粛要請等が発せられた場合は中止または延期の対応をとること
- (10) 熱中症アラート(試行)に合わせて十分な予防措置をとる
- (11) WBGTによる計測値から、適宜クーリングブレイクや給水時間を設け選手の安全を確保する

### 3.事業開催の流れ

事前	1.JFA サッカー活動の再開にむけたガイドラインを確認する。
	2.チェックリストを確認する (excel ファイル) ①大会参加チーム ②健康チェックシート (参加チーム用) ③会場責任者用
	3.感染拡大の状況や他のガイドラインや注意事項等を事前に確認する 開催する市町村や施設管理者が示すガイドラインや注意事項等
	4.「感染対策責任者」を決める ※大会全体の責任者や、会場責任者を開催日ごとに明確にする
	5.参加校に大会の注意事項を配布し、チーム、選手、保護者に内容を確認してもらう。
	6.必要物品の準備を準備する
当日	7.事業を運営する
事後	8.報告提出をする 大会記録, チェックリスト (感染対策責任者氏名記入) 健康チェックシート (参加者分=選手・スタッフ, 運営者)
	9.感染が疑われたり発生したりした場合の対応 (1)近隣の接触者センターや所管の保健所に問い合わせる  (2)サッカー教会への連絡 当事者/チーム代表者 ↓ 会議/大会の感染対策責任者 → 種別委員長 → 協会事務局 → (専務理事/会長) → JFA ↓ 他の参加者や借用施設等 (3)事業開催期間中に参加者の中から感染者が出た場合は、当該の事業を中断または中止し取り扱いを決定する (4)感染した経路に特定された場合は、保健所の対応に協力する